
2030年の持続可能な 地域社会を創生する グローバル・リーダーの育成

2022年1月20日

千葉市立稲毛高等学校・附属中学校

研究開発の背景

これまでの取組

英語教育及び国際理解教育の先進校

(H15～17、H18～20 2期連続SELHi指定)

成果

英語によるコミュニケーション能力の育成

課題

自分の意見を表明したり、相手と粘り強く議論する力の育成

論理的に思考する力の育成

課題を発見する力の育成

自分たちが住んでいる地域への関心の低さ

考え抜く力 (課題発見力・計画力・創造力)
協働する力 (柔軟性・傾聴力・状況把握力)
行動する力 (主体性・実行力・働きかける力)

【育成する力】

【探究】

全職員で
育成

各教科・
科目授業
連携

グローバル
企業訪問

高大連携
授業

グローバル
講演会

外部連携

稲高生による千葉市創生プロジェクト

SDG sリサーチプロジェクト

英語力の
育成

海外研修

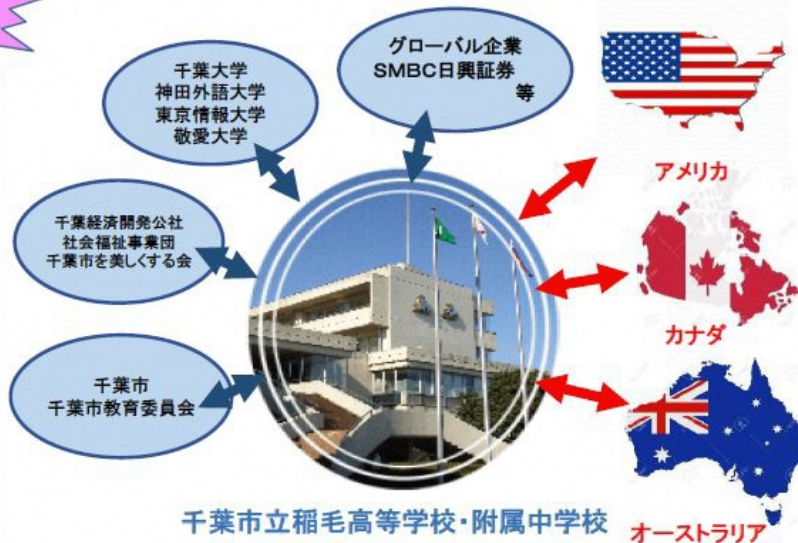
国際交流

英語
ディベート
授業

先進的な
英語教育

少人数授業
ネイティブ講師

グローバルな視点で
持続可能な地域社会
を創生！！



千葉市立稲毛高等学校・附属中学校

コンソーシアム

地域連携
助言・協力

海外連携

調査研究
国際交流

取組1 稲高生による千葉市創生プロジェクト

アカデミックリテラシーを体験的に身に付けるためのプロジェクト。千葉市を教材とし、自分たちで身近な題材から課題を見出し、情報収集を行い、解決策を考案し提言することを目指しています。

- ①「砂漠脱出ゲーム」を通じて合意形成の大切さを体感
- ②身近な地域について各自で写真を撮り、班で共有
- ③千葉市関連のテーマを決定
- ④千葉市を中心にフィールドワーク調査
...自分たちでアポを取り、アンケートやインタビュー を実施
- ⑤中間発表
...Google slideで資料作成、大学の先生方との質疑応答
- ⑥再度調査
- ⑦最終発表
- ⑧代表班は更に千葉市長とのタウンミーティングを実施
千葉市政について提言

※令和3年度は緊急事態宣言の影響で計画は修正



取組2 SDGsリサーチプロジェクト

グローバル且つローカルな課題を踏まえ、自己の興味関心によりテーマを選んで探究活動を行っていくのが「SDGsリサーチプロジェクト」です。興味関心の近い集団をゼミナール(通称ゼミ)として編成し、各ゼミごとに活動を行っています。

| | | |
|----|--------|-------------|
| 高1 | 9月～10月 | 所属ゼミの決定 |
| | 1月～3月 | 研究計画書の作成 |
| 高2 | 4月～6月 | 中間発表 |
| | 7月～12月 | 修学旅行&海外語学研修 |
| | 1月～3月 | 文献調査 |
| 高3 | 4月～7月 | 文献調査&探究論文執筆 |
| | 9月 | ゼミ内発表会 |



取組3 海外研修・国際交流

コロナ禍で海外語学研修や国際交流が中止となる中、試行錯誤しながらオンラインを活用して国際交流を行いました。また感染状況を踏まえて、外部機関への研修を実施しました。

| 活動内容 | 実施年度 |
|----------------------------|------|
| メロス言語学院とのオンライン交流 | R2-3 |
| ユネスコ主催事業 韓国教職員とのオンライン交流 | R2-3 |
| 韓国の蔚山科学高校とのオンライン交流 | R3 |
| 千葉大学留学生との交流 | R2-3 |
| JICA市ヶ谷研修 | R2 |
| 東京グローバルゲートウェイ研修 | R3 |
| 国際NGOを招いてのセミナー | R2 |



取組4 グローバル企業見学

コンソーシアムに所属する大学にご協力いただき、高校1・2学年の生徒を中心に企業への見学やオンラインでの交流を行っています。実際に英語を使って働く方との交流は、キャリア形成はもちろん、日々の学習がどのように実社会での生活と結びつくのかを考えさせてくれます。

| 企業名 | 実施年 |
|-------------|-----------|
| 住友商事(株) | H30 |
| 成田国際空港(株) | R1,R2,R3 |
| 三菱UFJ銀行(株) | H30 |
| (株)ユニクロ | R1 |
| (株)IHI | H30 |
| SMBC日興証券(株) | H30,R1,R2 |



3年間の成果

1

校内での組織体制整備→より持続可能な取組へ
地域との協働推進委員会の設置
千葉県創生プロジェクトの担当者を設置

2

都市型の利点を生かした地域協働体制の構築
大学職員による中間発表会での質疑応答

3

3年間を通しての探究活動カリキュラムを作成

今後の課題

1

中等教育学校化に向けた本事業の成果の継承

中高における各教科・科目のカリキュラムマネジメント
6年間の探究活動の再編

2

生徒の主体的な課題意識の醸成

ローカル且つグローバルな課題意識を育む活動が必要

3

Withコロナ時代における海外語学研修や国際交流の在り方の検討

今後の展望

令和4年度～ 千葉市立稲毛国際中等教育学校への移行開始

3年間の研究開発の成果を踏まえ、更なる深化を

- 6年間のInage Quest(総合的な学習・探究の時間)

- 国際教養科の成果を引き継ぐ国際教育・英語教育の展開
全員が海外語学研修に参加

